

2023年6月28日

2023年春の花粉飛散の特徴は？「花粉まとめ2023」を発表  
西・東日本で大量飛散、高温の影響で短期集中型のシーズンに  
～飛散が多くつらい春に、花粉症の発症・症状のピークは昨年よりも前倒しに～

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:草開千仁)は、2023年春の花粉の飛散と花粉症の症状のまとめを発表しました。本発表では、一般の方や企業、病院などの協力のもと全国約1,000か所に設置した独自の花粉観測機「ポールンロボ」が観測した花粉飛散量と、アプリ「ウェザーニューズ」を利用する花粉症の方からシーズン中に寄せられたのべ128,751通の症状報告をまとめています。なお、2024年春の花粉飛散傾向は、10月頃に発表予定です。

## ✔ポイント

1. 飛散量:西・東日本で大量飛散 北海道や東北北部で少ない傾向
2. 飛散時期:高温の影響 飛散開始直後に大量飛散
3. 症状報告:飛散の多い西日本～東北南部でつらい人が増加 発症・症状のピークは前倒しに

ウェザーニューズウェブサイト「花粉まとめ2023」

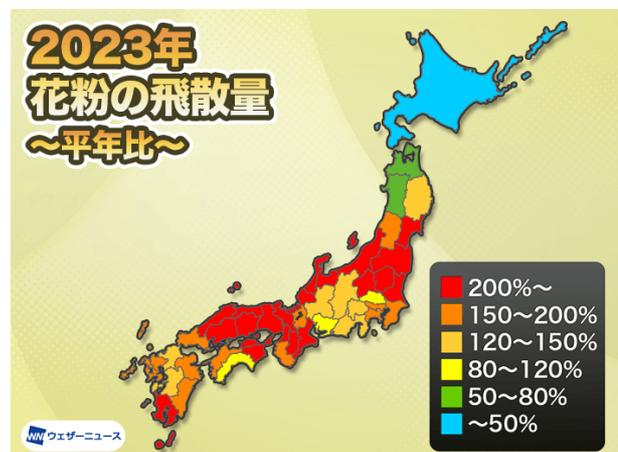
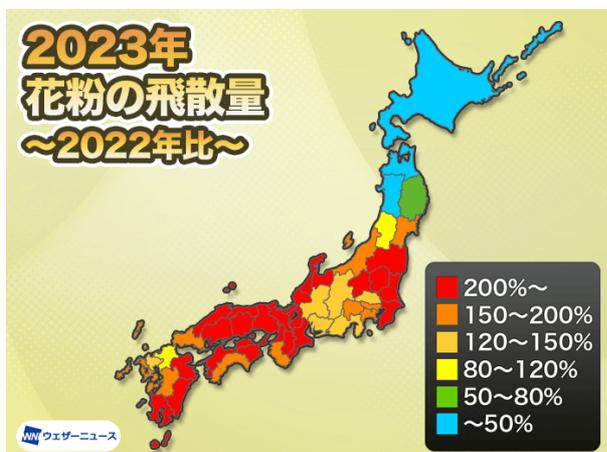
<https://weathernews.jp/s/topics/202306/270155/>

## ◆ 2023年 花粉の飛散まとめ

## ＜西・東日本で大量飛散 北海道や東北北部で少ない傾向＞

ウェザーニューズ独自の花粉観測機「ポールンロボ」が観測した2023年春の花粉飛散量は、全国平均で昨年比180%、平年比186%(※1)となり、昨年、平年より多くなりました。

地域によって飛散量の偏りが大きいのが特徴で、西日本や東日本では昨年よりも大幅に飛散量が増加した一方、北海道や東北北部では飛散量が昨年を大きく下回りました。



花粉の飛散量は花粉の生成量と飛散時期の天候に左右されます。花粉の生成量は主に前年夏の気温や日照時間、年ごとの花粉の増減傾向の影響を受けます。

昨年の夏は暖かい空気に覆われた日が多くなったため、平均気温は全国的に平年を上回りました。西日本では太平洋側を中心に日照時間が平年を上回り、雄花の生長に適した天候となりました。西日本では昨年春の飛散量が前年を下回ったところが多く、その反動で今年の飛散量は大幅に多くなりました。今年は、飛散がピークを迎えた3月に晴れて記録的な暖かさになったことも、飛散量が増えた要因と考えられます。

一方、北日本では、昨年の夏は日照時間が平年を下回り、雄花の生長にはやや不向きな天候となりました。北海道や東北北部では昨年春の飛散量が前年を上回ったところが多く、その反動で今年の飛散量は昨年より減少しました。

※1 花粉飛散の平年：過去10年間(2013～2022年)の平均

### <高温の影響 飛散開始直後に大量飛散>

2023年春の花粉飛散の特徴は、2月から3月の暖かさの影響で飛散開始から本格飛散に至る期間が著しく短かったことです。飛散が始まってからあつという間に大量飛散となるエリアが多くなりました。3月以降も高温が続いたため飛散終了時期も早くなり、短期間に飛散が集中しました。

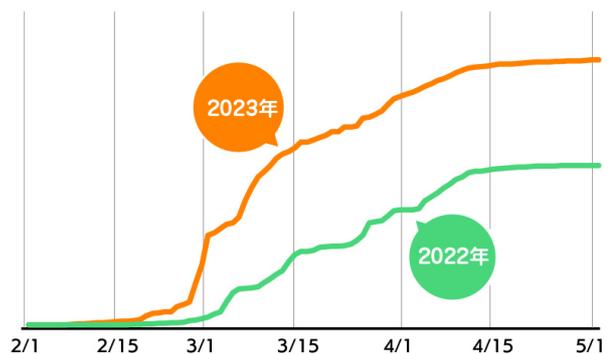
今年の2月は上空の寒気の影響が弱く、平均気温は西日本と東日本で平年よりも高くなりました。飛散開始時期は関東エリアで平年よりやや遅くなった一方、北日本や西日本では概ね平年並み～平年よりやや早くなりました。平年では飛散が開始してから1～2週間程度で本格飛散に至りますが、今年は飛散が開始してから1週間以内に本格飛散に至ったエリアが多くなりました。

3月以降もほぼ全国的に高温傾向が続き、飛散が早く進んだことにより飛散の終了時期は平年より前倒しになりました。花粉の飛散期間は昨年よりやや長いものの平年よりは短く、短期間に飛散が集中した形になりました。

花粉飛散量の推移 **東京都**



花粉飛散量の累計 **東京都** 



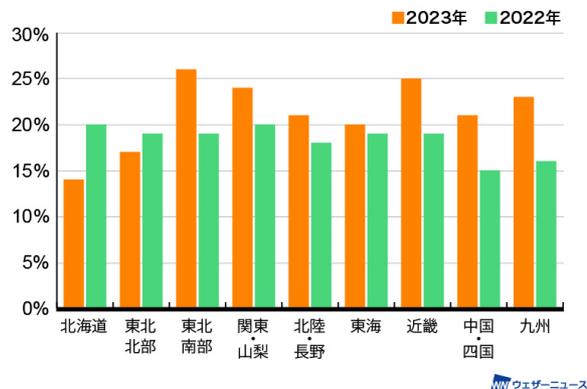
## ◆ 2023年花粉症の症状報告まとめ

### <飛散が多い西日本～東北南部でつらい人が増加>

花粉症の症状のつらさはどうだったのか、スマホアプリ「ウェザーニュース」のユーザーから寄せられる症状報告を分析しました(※2)。その結果、花粉症の症状が「つらい」と感じた方の割合は、全回答数の23%となり、昨年の19%よりも4ポイント増加しました。

地域別に見てみると、特に東北南部や近畿以西では昨年との違いが顕著で、これらの地域では花粉の飛散量も昨年に比べて大幅に多くなっています。一方、飛散量が昨年よりも少なくなった北海道と東北北部では、昨年よりもつらいと感じた人の割合が減少しました。

### 花粉症の症状が「つらい」人の割合



※2 症状が「つらい」人の割合:スマホアプリ「ウェザーニュース」の『花粉 Ch.』に2023年2月1日～5月31日までに花粉症のユーザーから寄せられた症状報告(のべ128,751通)のうち、「非常につらい」「つらい」の回答を合計し、割合で表示。

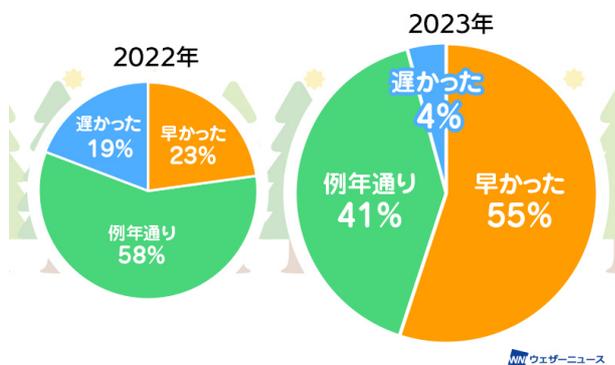
### <発症・症状のピークは昨年より早い傾向>

花粉症の発症時期に関する調査(※3)では、花粉症の方の過半数が「今年は発症が早かった」と感じていました。今年と昨年の症状報告の変化を比較してみると、今年は2月下旬から花粉症の症状が「つらい」と感じる方が増え、昨年よりも早い傾向となりました。これは花粉の飛散が本格化したタイミングと重なります。

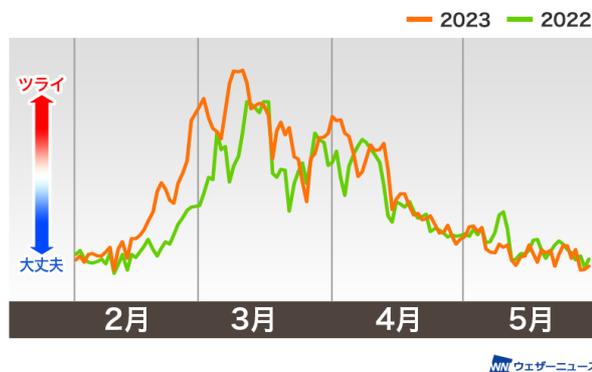
「つらい」の割合がピークを迎えたのは2月28日頃からでした。昨年は3月12日頃だったことから、最もつらい時期が昨年より約12日も早く訪れています。

一方、「つらい」割合が減少したのは今年も昨年も4月中旬からでした。今年は症状のピークが前倒しになった分、「つらい」と感じる期間が長くなったことがわかります。

### 花粉症、症状が出た時期は?



### 花粉症の症状報告の変化



※3 調査:スマホアプリ「ウェザーニュース」にて「今年花粉症、症状が出た時期はどう?」と質問し(選択肢:“早かった”“例年通り”“遅かった”“花粉症ではない”)、“花粉症ではない”の回答を除いて集計(調査期間:2023年3月29日～3月30日、回答数:8,122)。

**◆ 都道府県ごとの花粉飛散傾向**

都道府県	花粉シーズン中の総飛散量		症状が辛い割合	
	2022年比(%)	平年比(%)	2023年(%)	2022年(%)
北海道	34	31	14	20
青森県	29	73	19	20
岩手県	67	143	24	21
秋田県	30	79	7	15
宮城県	153	203	28	22
山形県	104	170	22	17
福島県	225	270	24	18
茨城県	243	228	20	16
栃木県	311	262	27	23
群馬県	267	214	21	19
埼玉県	128	115	26	23
千葉県	217	158	23	19
東京都	165	151	22	19
神奈川県	178	190	25	19
山梨県	199	150	36	27
長野県	135	125	20	23
新潟県	183	253	18	16
富山県	212	237	22	13
石川県	236	314	26	19
福井県	211	273	23	13
静岡県	125	132	19	18
愛知県	125	110	21	19
岐阜県	142	140	19	25
三重県	329	210	23	15
滋賀県	213	160	23	17
京都府	250	233	21	16
大阪府	329	215	26	19
兵庫県	291	257	26	21
奈良県	388	233	22	17
和歌山県	197	165	21	18
岡山県	321	257	24	15
広島県	399	254	27	21
鳥取県	219	286	29	16
島根県	255	225	20	10
山口県	187	169	20	17
徳島県	403	229	15	29
香川県	294	256	14	6
愛媛県	249	188	12	8
高知県	169	115	23	27
福岡県	113	131	22	18
佐賀県	149	164	26	24
長崎県	158	160	29	14
大分県	302	176	35	13
熊本県	161	142	16	15
宮崎県	373	153	21	13
鹿児島県	305	212	17	9
全国平均	180	186	23	19

\* 総飛散量:各都道府県に設置された花粉観測機「ポールンロボ」が観測した飛散量の平均

\* 症状:2/1~5/31の期間において症状が出ている方(“非常に辛い”“辛い”“やや辛い”と回答した方)のうち、“非常に辛い”または“辛い”と回答した方の割合

◆ シーズン開始・終了日

都道府県	2023年				平年(2013~2022年の平均)			
	飛散開始	本格 飛散開始	本格 飛散終了	飛散終了	飛散開始	本格 飛散開始	本格 飛散終了	飛散終了
北海道	4/20	4/25	5/23	5/31	4/25	4/29	5/31	6/11
青森県	3/1	3/6	4/13	4/27	3/9	3/16	4/29	5/8
岩手県	3/1	3/6	4/13	4/27	3/4	3/11	4/27	5/6
秋田県	3/1	3/8	4/13	4/25	3/8	3/16	4/28	5/5
宮城県	2/26	2/28	4/14	4/27	2/24	3/4	4/24	5/5
山形県	2/28	3/7	4/18	4/25	3/2	3/8	4/25	5/3
福島県	2/22	2/28	4/16	5/8	2/22	3/3	4/25	5/5
茨城県	2/14	2/18	4/16	5/8	2/8	2/20	4/25	5/5
栃木県	2/14	2/18	4/17	5/8	2/9	2/20	4/26	5/6
群馬県	2/14	2/18	4/17	5/8	2/9	2/20	4/26	5/6
埼玉県	2/12	2/18	4/16	4/27	2/7	2/20	4/24	5/5
千葉県	2/12	2/18	4/14	4/27	2/7	2/19	4/23	5/5
東京都	2/12	2/18	4/14	4/27	2/6	2/20	4/23	5/6
神奈川県	2/12	2/18	4/14	4/27	2/6	2/19	4/24	5/5
山梨県	2/12	2/18	4/23	5/1	2/12	2/22	4/26	5/7
長野県	2/26	2/28	4/27	5/1	2/22	3/2	4/29	5/9
新潟県	2/25	2/28	4/13	4/30	2/27	3/4	4/22	5/5
富山県	2/25	2/28	4/13	5/5	2/24	3/2	4/22	5/4
石川県	2/25	2/28	4/13	4/29	2/24	2/28	4/23	5/3
福井県	2/25	2/28	4/13	4/23	2/24	3/1	4/22	5/2
静岡県	2/9	2/13	4/24	4/30	2/8	2/18	4/25	5/5
愛知県	2/15	2/18	4/13	4/27	2/17	2/24	4/24	5/4
岐阜県	2/17	2/28	4/27	4/30	2/19	2/26	4/29	5/7
三重県	2/9	2/13	4/13	4/27	2/14	2/22	4/23	5/2
滋賀県	2/17	2/28	4/17	4/27	2/21	2/27	4/24	5/2
京都府	2/17	2/28	4/17	4/27	2/20	2/28	4/23	5/2
大阪府	2/19	2/27	4/14	4/23	2/19	2/25	4/23	5/2
兵庫県	2/19	2/27	4/17	4/23	2/18	2/26	4/24	5/4
奈良県	2/17	2/27	4/14	4/23	2/19	2/25	4/24	5/3
和歌山県	2/9	2/13	4/13	4/27	2/13	2/23	4/21	5/2
岡山県	2/17	2/19	4/17	4/23	2/19	2/25	4/23	5/2
広島県	2/17	2/19	4/17	4/23	2/18	2/23	4/22	5/1
鳥取県	2/17	2/19	4/17	4/23	2/18	2/24	4/21	4/30
島根県	2/12	2/17	4/13	4/20	2/17	2/24	4/21	4/30
山口県	2/9	2/13	4/13	4/23	2/11	2/18	4/19	4/28
徳島県	2/15	2/20	4/14	4/23	2/17	2/22	4/22	5/1
香川県	2/17	2/27	4/14	4/23	2/18	2/23	4/22	5/1
愛媛県	2/9	2/18	4/14	4/23	2/13	2/20	4/22	5/1
高知県	2/14	2/20	4/13	4/23	2/14	2/21	4/21	5/1
福岡県	2/9	2/13	4/10	4/20	2/9	2/18	4/16	4/26
佐賀県	2/9	2/13	4/10	4/20	2/13	2/19	4/15	4/25
長崎県	2/8	2/11	4/10	4/20	2/9	2/19	4/16	4/25
大分県	2/9	2/13	4/13	4/23	2/10	2/19	4/16	4/26
熊本県	2/13	2/14	4/10	4/23	2/13	2/19	4/15	4/26
宮崎県	2/13	2/14	4/10	4/20	2/9	2/19	4/17	4/27
鹿児島県	2/9	2/13	4/10	4/20	2/11	2/20	4/15	4/27

\* 花粉シーズンの定義: 花粉観測機「ポールンロボ」の観測に加え、ユーザーからの症状報告を加味

花粉シーズン開始: 3割以上のポールンロボが1日10個以上の花粉を観測。症状が重い人、敏感な人に症状が出始める目安

本格花粉シーズン開始: 3割以上のポールンロボが1日30個以上の花粉を観測。花粉症の多くの人に症状が出始める目安

花粉シーズン終了: 7割以上のポールンロボが1日10個以下の花粉を観測